

「MURC アクセラレータ LEAP OVER」審査結果発表

最優秀賞は BizteX 株式会社「クラウド RPA サービス「BizteX cobit」、
優秀賞は株式会社フラジェリンと株式会社ハタプロの 2 社に決定

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社（以下 MURC）は、協賛社である TIS 株式会社とともに、スタートアップによる革新的なビジネスの立ち上げや事業化のスピードを加速させるアクセラレータプログラム「MURC アクセラレータ LEAP OVER」を実施しています。去る 2 月 28 日、第 1 期生 13 社の最終成果発表会“LEAP DAY”を開催し、公平な審査の結果、最優秀賞 1 社と優秀賞 2 社を決定いたしましたのでお知らせいたします。

■ MURC アクセラレータ LEAP OVER 第 1 期 審査結果

● 最優秀賞
BizteX 株式会社 （代表取締役 嶋田 光敏 氏） WORK 分野 『クラウド RPA サービス「BizteX cobit」』
● 優秀賞
株式会社フラジェリン （Co-founder & CEO 阪本 怜 氏） LIFE 分野 『製薬・医療機器向けマーケティングアナリティクスツール』
株式会社ハタプロ （代表取締役 伊澤 諒太 氏） COMMUNITY / LOCAL 分野 『AI を活用した小型のフクロウ型 IoT ロボット「ZUKKU」によるガイドサイネージ』

■ 最終成果発表会“LEAP DAY”の概要

「LIFE」（4 社）、「WORK」（4 社）、「COMMUNITY / LOCAL」（5 社）の 3 分野、計 13 社がビジネスプランを発表し、下記の観点から 5 名の審査委員が審査を行い、その場で選考結果を発表しました。

- 審査の観点
 - イノベーションの度合い(業界 / 社会をどう変えるか)
 - 市場の魅力度(規模、成長性)
 - 経営者・チームの魅力
 - サービス・商品の完成度(プログラム期間中の成長度)
 - TIS、MURC 等とのシナジーの度合い

最終成果発表会の詳細は添付の参考資料をご覧ください。

【本件に関するお問い合わせ】

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社
Open Innovation Platform LEAP OVER
経済政策部 兼 新事業開発室 主任研究員 LEAP OVER 責任者 杉原美智子
〒105-8501 東京都港区虎ノ門 5-11-2 オランダヒルズ森タワー
TEL : 03-6733-3415(直通) E-mail : michiko@murc.jp

【報道機関からのお問い合わせ】

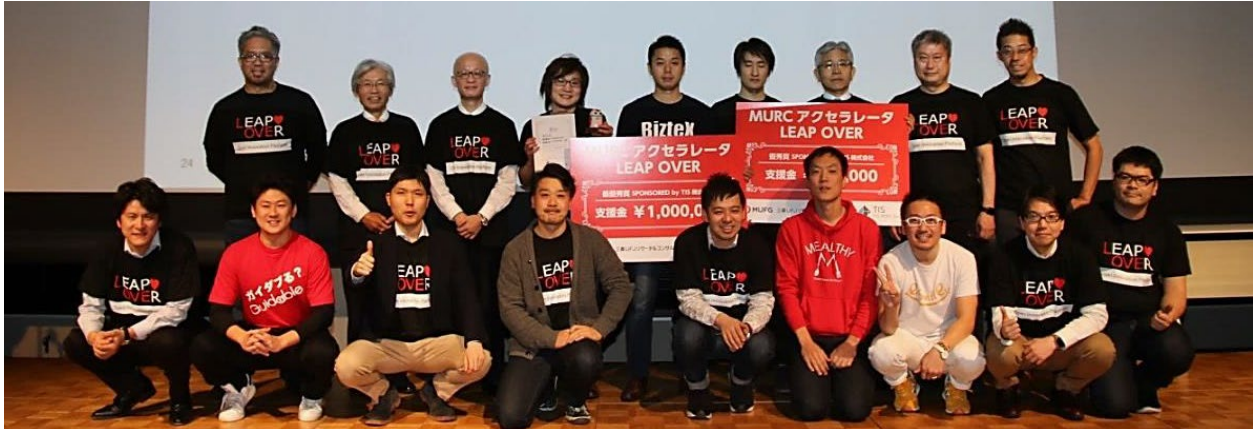
コーポレート・コミュニケーション室 杉本(TEL:052-307-1106)、村田(TEL:03-6733-1005)
E-mail : info@murc.jp

《参考資料》 “LEAP DAY”開催報告

■ 最終成果発表会“LEAP DAY”について

本プログラムは、MURC が主催する初めてのアクセラレータプログラムです。2017 年 11 月に第 1 期採択企業を決定し、IoT、AI、ロボット、AR/VR の技術を活用して社会課題を解決するビジネスの創出を目指し、4 か月にわたって事業化を支援してきました。

当日は企業・自治体等の総勢 200 名を超える皆様にご来場いただき、大変盛況な発表会となりました。本プログラム（第 1 期）は最終成果発表をもって終了となりますが、MURC は引き続き一期生 13 社と接点を持ちながら、今後もサポートしていく所存です。



成果発表を行った 13 社と審査委員

● 成果発表を行った 13 社について

□ Life 分野

1. 株式会社フラジェリン 「製薬・医療機器向けマーケティングアナリティクスツール」
2. 株式会社 Mealthy 「糖尿病性腎症重症化予防のための食習慣改善サポート」
3. 株式会社イースマイリー 「障がい・難病患者とその家族のためのコミュニティ事業」
4. 株式会社 HeSeL 「患者と家族のためのグローバルセカンドオピニオン」

□ Work 分野

5. 株式会社エコージャパン 「プレスリリースの解析に特化した B2B マーケティング解析エンジン『echoes』」
6. AHACRAFT 株式会社 「SpotLab.」
7. BizteX 株式会社 「クラウド RPA サービス『BizteX cobit』」
8. Guidable 株式会社 「オリンピック、地方創生、インバウンド、外国人で日本を盛り上げたい企業向けクラウドソーシング『Guidable Crew』」

□ Community/Local 分野

9. silvereye 株式会社 「VR 街巡りトレーニング」
10. 株式会社トラベルテックラボ 「訪日外国人向け無料 SIM カード+観光案内アプリでの送客事業」
11. 株式会社 LEARNie 「世界中の仲間や先生と学びを楽しむ！オンライングループレッスンプラットフォーム LEARNie」
12. 株式会社ハタプロ 「AI を活用した小型のフクロウ型 IoT ロボット「ZUKKU」によるガイドサイネージ」
13. 株式会社 PROPELa 「地産地消型直販 EC 事業。『鮮度』で生産者と消費者を繋ぐ Toretatte」

● 審査委員会について

審査委員長	TIS 株式会社 代表取締役社長 桑野 徹 氏
審査委員	三菱 UFJ リサーチ & コンサルティング株式会社 代表取締役社長 村林 聡 氏 キャナルベンチャーズ株式会社 代表取締役 COO 保科 剛 氏 アーキタイプ株式会社 代表取締役 / マネージングパートナー 中嶋 淳 氏 株式会社ジェネシア・ベンチャーズ 代表取締役 田島 聡一 氏 D4V(Design for Ventures) COO/ファウンディングパートナー 伊藤 健吾 氏

● 主催者



主催者代表として挨拶を行うMURCの村林代表取締役社長



トークセッションでモデレータを務めた MURC 石山チーフコンサルタント



LEAP OVER の責任者としてプログラムを説明する MURC 杉原主任研究員

● 協賛者



協賛者として審査委員長を務めた TIS の桑野代表取締役社長

■ スペシャルトークセッション「なぜいまオープンイノベーションが必要なのか」

当日は、スペシャルトークセッションとして当社を代表する研究員である岩名礼介（社会政策部 部長 首席主任研究員）と矢島洋子（社会政策部 共生社会室長 首席研究員）が登壇し、各分野でのオープンイノベーションの可能性についてディスカッションしました。

□ パネリスト：岩名礼介 首席主任研究員（社会政策部長）



介護事業においてもスタートアップの支援でビジネスチャンスが切り拓ける
 地域包括ケアシステムは、医療、看護、介護、リハビリなどの複数の専門職で制度により運営されることが前提だが、各サービスは異なる事業者から提供されるが一般的。特に介護事業者は小規模事業者が多く、例えると各交番にそれぞれ管理部門を置いているような状況。若年人材の不足も深刻だが、こうした事業者側の体制の弱さに起因している部分大きい。ここにスタートアップによるプラットフォームでの情報連携や管理部門サービスというビジネスチャンスが期待できる。

□ パネリスト：矢島洋子 首席研究員（社会政策部 共生社会室長）



従来の枠にとらわれないスタートアップの働き方が世の中をリードする
 現在、国会でも働き方改革にまつわるいろいろな混乱が発生しているが、「働き方改革」という言葉が、使う人によって指しているものが異なっていることがその原因。また、目指すべき働き方の姿は、従業員間でフラットな情報共有がいつでもどこでもできることと考えているが、現実はいままでの職場の勤労管理・業務管理をリモートで実施しようとする古いタイプの仕組み。働き方改革を実現するには経営に関する古い考え方そのものを変える必要がある。それには従来の経営の枠にとらわれないスタートアップの働き方が世の中を牽引していくことが期待できるのではないか。